

北海道社会学会ニュース

H.S.A.NEWSLETTER

発行：北海道社会学会事務局

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル

北海道NPOサポートセンター気付

FAX: 011-261-6524 E-mail: socio@npo-hokkaido.org 担当 金城

郵便振替口座 02760-3-3085 ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/hsa>

HOKKAIDO SOCIOLOGICAL ASSOCIATION

c/o Hokkaido NPO Support Center,

Kuwagata Bldg., Minami 2 Nishi 10, Chuo-ku, Sapporo, 060-0062 JAPAN

Newsletter Editor: HIRASAWA Kazushi

編集責任者：平沢和司（庶務理事） 北海道大学大学院文学研究科 hirasawa@cme.hokudai.ac.jp

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目 TEL 011-706-3322（直通） FAX 011-706-4801（事務室）

<ニュース（No.70以降の各号）のほぼ全文が学会ホームページでPDFファイルとして公開されています>

今年の北海道社会学会大会について

すでに昨年 11 月より学会ホームページで公表しているとおおり、第 57 回北海道社会学会大会は、2009 年 6 月 27 日（土）・28 日（日）に、札幌学院大学（江別市）で開催されます。今回は会場が札幌近郊であり、開催校の先生方が多いことから、2 日間にわたっての開催となります。開催校の担当代表者は高田洋会員です。

自由報告の募集についてはニュース次号（3 月発行予定）またはホームページをご覧ください。またシンポジウムについては研究活動委員会を中心に検討を重ねています。詳細が決まり次第、ニュースまたはホームページで公表します。なお大会プログラムはニュース次々号（5 月発行予定）に掲載します。

『現代社会学研究』1～20 巻が JST アーカイブ対象誌に選定されホームページで公開される件について

『現代社会学研究』1～20 巻が、このたび科学技術振興機構（JST）の平成 20 年度電子アーカイブ対象誌に選定されました。これは長年、本学会が申請していたもので、費用の大半を同機構が負担して、著者の同意が得られた論文・書評・海外動向などの全文を同機構のホームページ上で PDF ファイルとして公開する事業です。同誌を所蔵する図書館が少ないため、これまでは学会員以外の方が閲覧しにくい状況にありましたが、今後はその点がおおいに改善されます。今後、著作権の委譲確認（後述）を経て、本年 8 月 1 日より、ほとんどの論文等が JST のホームページ（<http://www.journalarchive.jst.go.jp/japanese>）で公開される予定です。なお、今回の対象とならない 21 巻（2008 年 6 月発行）以降の巻の公開についても、今後 JST と交渉を続けていきます。

『現代社会学研究』に論文等が掲載された会員へ —著作権委譲のお願い—（公告）

『現代社会学研究』に掲載された論文等の著作権は現在、著者に帰属しています。そこで JST ホームページ上で全文を公開するには、著作権を著者からいったん北海道社会学会へ委譲していただく必要があります。ついては 1～21 巻に掲載された（22 巻については掲載される予定の）論文・書評・海外動向などの著者に、当該論文等の著作権を本学会へ委譲することをお願いいたします。本学会と JST の間の「電子アーカイブ化に関する覚え書き」は本年 1 月 5 日付けですでに締結されましたので、この委譲に同意された方は自動的に JST での公開にも同意されたこととなります。

もしホームページでの公開や著作権の委譲に同意されない方は、以下の手続きを行ってください。この手続きがなされない場合、著作権の委譲に同意したと見なします。なお現在、学会員の当該著者には著作権委譲のお願いをあらためて文書などでは行ないませんので、ご了解をお願いします。現在、会員でない著者には今後、可能な限り文書で個別にお願いの連絡をいたします。なお最終的な公開範囲は、著作権委譲等をふまえて理事会で決定します。

また次回大会総会にて「著作権は学会に帰属する」旨の規定を「編集・投稿規程」に追加する改訂案を發議する予定です。提案通り改訂されれば、23 巻（2010 年 6 月発行予定）からは著作権が学会に帰属することとなります。以上、関係各位のご理解とご協力をお願いいたします。

◇著作権の委譲をお願いする著者の範囲は：

『現代社会学研究』1～22 巻に掲載された論文・書評・海外動向・海外の眼・往来・コメント・最終講義の著者（会員・非会員を問わない）。ただし物故者・非会員の外国人を除く（物故者・非会員外国人が著者の論文等は今回は公開の対象となりません）。

◇著作権の範囲等は：

対象論文等の複製権と公衆通信権（送信可能化権を含む）を含む著作権のすべて。委譲を受けた北海道社会学会は今後、学術的な目的において、論文等の全文または一部を複製する権利、および電子媒体を通じて送信する権利を有するとともに、第三者に同等の権利を行使させる権利を有することになります。

◇著作権の委譲を承認されない著者は：

2009年6月28日（日）までに、かならず電子メールでその旨を平沢庶務担当理事（巻頭参照）あてにお伝えください。その際、氏名・自宅住所・該当論文名・巻号・メールアドレスを明記してください。数日のうちに折り返し確認メールをお送りします。なお、このメールによる申し出がない場合は、著作権の委譲に同意したものとみなします。

◇著作権の委譲を承認される著者は：

とくに何もする必要はありません。

2008年度第1回理事会報告

日時：2008年11月20日（木）18:30～20:10

会場：北海道大学文学部 E308 室

出席者：笹谷会長、小内透副会長、大國・小内純子・加藤・櫻井・樽本・平沢の各理事

報告

1.庶務報告（平沢庶務担当理事）

1-1.新入会員（6～11月）について

さきの持ち回り理事会で承認された会員1名について入会が報告された。

1-2.研究奨励金（10月31日締め切り）の応募状況について

（ホームページ公開版では省略）

1-3.『現代社会学研究』が科学技術振興機構（JST）の平成20年度電子アーカイブ対象誌に選定された件について

本年10月に同機構からその旨の連絡があったこと、学会側で詳細調査、冊子の提供、著作権の確認、公開対象およびプライバシー保護対象の確定を行う必要があることが報告された。

2.研究活動委員会報告（櫻井研究活動委員長）

次回大会の日程が6月27～28日に確定したこと、シンポジウムに関してコーディネーターおよびテーマの概要が固まりつつあることが報告された。

3.編集委員会報告（内田編集委員長が校務で欠席のため小内純子理事が代読等で説明）

3-1.『現代社会学研究』所収論文等の著作権を学会に帰属させる件について

編集委員会での旨の条文を「編集・投稿規程」に追加することが決定されたとの報告があり、次回大会総会で改定を発議することが確認された。

3-2.第22巻の編集状況について

10月末に締め切られた投稿論文の提出本数が少なかったため、前回大会のシンポジウム、海外動向などを掲載する方向で検討している旨、報告があった。

議題

1.『現代社会学研究』既刊号の著作権の確認等今後の作業の進め方について

同誌がJSTの平成20年度電子アーカイブ対象誌に選定されたことに伴い、公開対象の範囲、各著者に著作権を学会へ委譲してもらうための方法等が検討され、別項の通り決定するとともに、当面は庶務理事が本事案を担当することが確認された。

2.研究奨励金（2006年11月採択）のうち1件がその成果を『現代社会学研究』へ投稿していない件について

（ホームページ公開版では省略）

会員異動（2008年8～11月）

《新入会員》（氏名・所属・会員種別、敬称略）

（ホームページ公開版では省略）

会費の納入について

2008年度（以前）の会費が未納の方には、郵便振替用紙〔郵便振替口座 02760-3-3085〕が同封されています。すみやかに振り込みください。年会費は一般会員6,000円、学生・院生会員4,000円です。2008年度までの会費を完納された会員にのみ『現代社会学研究』第21巻（昨年6月発行）を配布しております。未納の会員には、会費の完納が確認され次第、郵送いたします。5年間滞納されると、自然退会の扱いとさせていただきます。

お断り

論文公開に関するJSTとの契約等の内容が確定するのを待ったため、今号は発行が例年より遅くなりました。